

総合プロデュース
中野 雄

音楽監督・指揮
新田 孝



The 10th WORLD PEACE CLASSIC CONCERT

～華麗なる協奏曲の祭典～

ヴィオラ
安達 真理



ヴァイオリン
瀬川 祥子



チェロ
水谷川 優子



ピアノ
鷺宮 美幸



ピアノデュオ ドゥオール
藤井 隆史 & 白水 芳枝



オーケストラ

NIPPON SYMPHONY

Program

- ・エルガー:チェロ協奏曲 [ヴィオラ版] (安達 真理)
- ・ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第3番 (鷺宮 美幸)
- ・ブルッフ:2台のピアノのための協奏曲
(ピアノデュオ ドゥオール 藤井 隆史 & 白水 芳枝)
- ・ブラームス:ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲
(ヴァイオリン:瀬川 祥子/チェロ:水谷川 優子)

2017 / 4 / 14 金

18:30 開演 | 17:30 ロビー開場

東京芸術劇場コンサートホール



アクセス

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
池袋駅西口より徒歩2分。
駅地下通路2b出口と直結しています。

SS席(指定) 7,000円 S席(指定) 6,000円

A席(指定) 5,000円 B席(指定) 4,000円

主催: NIPPON SYMPHONY 新田 孝後援会(孝遊会)

後援: (株)ゲイツオンホールディングス 日興協会

(株)ヤマハミュージックジャパン (株)デザインK

協力: (株)ミリオンコンサート協会 (株)SPプランニング
コンサート・ラド T&N企画

チケット: 東京芸術劇場ボックスオフィス TEL 0570-010-296

お問合せ: NIPPON SYMPHONY mobile 090-6927-3447

e-mail: nipponsymphony@docomo.ne.jp

◆ ニッポン・シンフォニー Nippon Symphony, Orchestra

東京東京芸術大学教授をはじめとするヴィルトゥオーソ及び著名コンクール入賞者を含む若手精鋭プレイヤーによって構成され、格調と熱気の演奏で知られている。私たちは、永遠に偉大な曲として光芒を放つ作品の最高の形式に最高の内容を注ぐこと、そして技法の完成を超越した境地、すなわち音楽にそなわる生命の力を表現することを目標としながら、演奏者と聴衆が一体となって作り上げるという本来の意味のコンサートを実現し、生の雰囲気と充実感を味わって頂けるように努力しております。

総合プロデュース / 中野 雄、音楽監督・指揮 / 新田 孝による一流ソリストとの新企画、「華麗なる協奏曲の夕べ」は、深沢亮子（ピアノ）、今井信子（ヴィオラ）など世界的ソリスト及び今をときめく中堅と若手ソリストとの高度な音楽表現と絶妙なアンサンブルにより常に絶賛され今後も大いに期待されている。

◆ 新田 孝 Takashi Nitta, Conductor

岡山市出身。東京都在住。東京芸術大学音楽学部卒業。東京交響楽団（音楽監督 / 秋山和慶）、新日本フィルハーモニー交響楽団（音楽監督 / 小澤征爾）の第一ホルン奏者として活躍後渡独。指揮法とホルンを国立ベルリン芸術大学、国立ケルン音楽大学にて学ぶ。帰国後、指揮者として独立。指揮法を小澤征爾、秋山和慶、山田一雄、V.ヴァンゲンハイム、J.マイヤー等に学ぶ。クラシカル・シンフォニックの世界をはじめあらゆるジャンルへの音楽をレパートリーとしている。2011年12月、東日本大震災復興支援 / 音楽にし礼訳日本語による第九「歓喜の歌」（総プロデュース：なかにし礼、澤畑恵美（S）、山下牧子（A）、福井敬（T）、福島明也（Br）、東京ニューシティ管弦楽団 / 東京文化会館大ホール）を指揮し大成功をおさめる。2015年10月、新垣隆「個展1015」（紀尾井ホール）にて、ピアノ協奏曲「新生」（ピアノ：新垣隆）の初演を指揮。2013年より、主催・音楽監督・指揮：新田孝、総合プロデュース：中野雄による一流ソリストとの新企画「華麗なる協奏曲の祭典」は、深沢亮子（ピアノ）、今井信子（ヴィオラ）など世界的ソリスト、近年ますます活躍がましい中堅及び将来を嘱望される若手精鋭との高度な音楽表現と絶妙なアンサンブルにより、常に絶賛され、今後も大いに期待されている。

NIPPON SYMPHONY 代表 / 音楽監督・常任指揮者。NIPPON WIND SYMPHONY 代表 / 音楽監督・常任指揮者。ROYAL SYMPHONIC ORCHESTRA（株式会社デザイン K）音楽監督・常任指揮者。NEW MIKABO PHILHARMONIC 常任指揮者。十日町市民吹奏楽団音楽監督。21世紀オペラ実験劇場・光の会（芸術監督：なかにし礼）代表 / 音楽監督。K 国際アンリミットコンクール / 管楽器部門審査委員長。日壇協会評議員。日壇文化協会会員。（株）ゲイツオンホールディングスエンターテインメント事業部：芸術総監督・指揮者 / エグゼクティブ・プロデューサー（株）ミリオンコンサート協会協力アーティスト。

座右の書：亀井勝一郎：大和古寺風物誌、愛の無常について、吉田絃二郎：小鳥の来る日、岡部伊都子：みほとけの対話、モンティニュー：随想録、トマス・ア・ケンピス：キリストにならいて、等。座右の銘：「敢行・貫行・慎行」、「即今・当処・自己」

◆ 安達 真理 Mari Adachi, Viola

桐朋学園大学卒業後、同大学研究生修了。2009年よりウィーンに渡る。ウィーン国立音楽大学室内楽科を経て、2013年ローザンヌ高等音楽院修士課程を最高点で修了。2015年同音楽院ソリスト修士課程を修了。

2011年よりカメラータ・デ・ローザンヌのメンバーとして、ピエール・アモイヤル氏と共に、世界各地で多数の公演を行った。2013年よりインスブルックのインスブルック交響楽団にて2年間副首席ヴィオラ奏者を務めた。2014年バンベルク交響楽団にて首席ヴィオラ奏者として客演。2016年、パーヴォ・ヤルヴィ氏が芸術監督を務めるバルヌ音楽祭に出演。ソリストとしてバーデンバーデン管弦楽交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団と共演。

現在ソリストとしての活躍のほか、弦楽四重奏団クアルテット・レストロ・アルモニコのメンバーとして、室内楽にも力を入れている。

オフィシャルサイト <http://www.mariadachi.com>

◆ 鷺宮 美幸 Miyuki Washimiya, Piano

7歳よりピアノ、作曲、ヴァイオリンを始める。その後、桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学入学。在学中、H. ビュイグ＝ロジェ氏の推薦でパリに留学。帰国後、同大学を卒業。

第56回日本音楽コンクール入選を皮切りに、UFAM 国際音楽コンクール室内楽部門第2位、国際ピアノデュオ・コンクール2台4手部門第2位（日本人最高位）などで入賞。

これまで、ベルリン・フィルのクリストフ・ハルトマン、イ・ムジチ合奏団のマッシモ・パリス、ジャン・ワン、マクサンス・ラリュエ、ミッシェル・マイスキー等、国内外の著名なソリストと共演。また、2013年にシンガポールで Metropolitan Festival Orchestra、指揮 Chan Tze Law と、グリーグのピアノ協奏曲、ベートーベンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を一夜で演奏し、「The Straits Times」で絶賛された。

NHK BS「びあひのピアノ」、NHK FM「名曲リサイタル」にソロで、また室内楽、伴奏でも度々出演した。

CD「ワッシー・ファンタジア」他、多数リリース。

オフィシャルサイト <http://www.miyuki-washimiya.com/>

◆ ピアノデュオドゥオール(藤井隆史&白水芳枝)

Pianoduo Deu'or (Takashi Fujii & Yoshie Shiramizu)

公式サイト：www.yoshie-takashi.com

公式ブログ：<http://ameblo.jp/yoshie-takashi/>

◆ 藤井隆史：東京藝術大学大学院修了（選出され、ベーゼンドルファーリサイタル出演）。植田克己、クラウス・シルデ両氏に師事。現在、武蔵野音楽大学講師。

◆ 白水芳枝：東京藝術大学卒業。笠間春子、井内澄子両氏に師事。現在、国立音楽大学講師。

文化庁、DAAD、野村国際財団各奨学生としてドイツ・マンハイム音楽大学大学院にて、R・ベンツ、P・ダン両教授のもとに学び、ソロ科及びピアノデュオ科を最優秀修了。

'04年にドイツにてデュオ結成後、国際的な賞を数多く受賞。以後、国内外にて550を超えるステージを踏み、リサイタル、コンチェルト、NHKなど放送出演、日演連クラシックフェスティバル、NEC ガラコンサート、現音創立80周年記念特別音楽展、トッパンホールシリーズ「Pianists」などへの出演など、ピアノデュオを中心とした活発な演奏活動が世界各地の聴衆、音楽誌から常に高い評価を受けている。

結成11年目となる'15年には、6枚目CD「2台のピアノのためのゴルトベルク変奏曲」をリリースし、記念リサイタルを開催、3作連続のレコード芸術誌「特選盤」に選ばれる。

また、ピアノデュオでの後進の指導にも力を注いでおり、全国各地にて講座、レクチャーコンサートを開催。カワイ梅田や彩の国さいたま芸術劇場共催のピアノデュオセミナーなど、ピアノデュオの道を切り拓く指導者としても、今後の更なる展開が期待されている。

(2016年10月現在)

◆ 瀬川 祥子 Sachiko Segawa, Violin

4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を首席で卒業後、同大学ディプロマコース入学。その後モスクワ音楽院、パリ国立高等音楽院第三課程で学ぶ。ベルリン芸術大学大学院を卒業し、国家演奏家資格を取得。第32回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国第1位。第332回日本国際音楽コンクール奨励賞受賞。イタリア、ヴィオッティ国際音楽コンクール最高位受賞。鷺見三郎、小林健次、江藤俊哉、ヴァレリー・クリモフ、ヴィクトル・トレチャコフ、レジス・バスキエ、トーマス・ブランディスの各氏に師事。

これまでにモスクワ・フィル、モスクワ交響楽団、ジョルジュ・デュマ交響楽団（ルーマニア）、メキシコ州立管弦楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、東京ニュー・シティ・フィル等と共演。また、ヤング・ブラハ、ポルトガル音楽祭、カラス音楽祭、東京の夏音楽祭、ペイニャック音楽の夕べなどに招かれる。ドイチュランド・ラジオ、ラジオ・スイス・ロマンド、NHK・FM「名曲リサイタル」などにも出演。日本、インド、ロシア、欧州各地などでリサイタル等のソロ活動の他、室内楽奏者としても活躍中。最近ではフォルテ・ピアノとのデュオ、トリオなど活動の幅を広げている。アンサンブル・ナフェアのメンバー。

イザイ無伴奏ソナタ全曲（フォンテック）、モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ（Integral classic）等のCDがリリースされている。

◆ 水谷川 優子 Yuko Miyagawa, Violincello

6歳からチェロを始め、桐朋学園女子高等学校音楽科卒業、同ディプロマコースを経て、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院首席卒業、同大学院修士修了マギスターの称号を得る。ローマのサンタ・チェチーリア国立アカデミーのソリストコースにて研鑽を積みながらザルツブルグ室内管弦楽団首席奏者、ザルツブルグ・ソリストのメンバーとして活動を開始。

第6回東京国際室内楽コンクール優勝、齋藤秀雄賞、アサヒビール賞、イタリア・カラブリア芸術祭コンクール優勝、パロックザール賞ほか多数受賞。いままで勝田聡一、松波恵子、ハイディ・リチャウアー、故アルトゥーロ・ボヌッチ、室内楽を故ハンス・ライグラフ、メナヘム・プレスラー、ハーゲン弦楽四重奏団の各氏に師事。最新のソロアルバム「CON ANIMA～魂をそえて」はレコード芸術誌で準特選盤、優秀録音に選出。ソロ活動のほか「Trio SolLa」「Ensemble φ」「スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウ」「一山水（能管、ピアノ、チェロ）」のメンバーとして精力的に演奏する傍らで少年院やホスピスへの訪問演奏を続けている。その多彩な活躍ぶりが注目されるメディアへの出演も多く「勇気づけ、包んでくれるような暖かい音色」（東京新聞）「心をノックするチェロ」（毎日新聞）「聴衆を感動に巻き込む個性」（音楽誌サラサーテ）などと評されている。現在は日本とドイツを拠点にヨーロッパ各地、エジプトなどからも招聘を受け高い評価を得ている。